

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良く なっている	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上は前年同月比108.7%、宿泊人員は同113.1%、宿泊単価は団体客の割合が上昇したこともあって同97.1%と今月も募集団体が好調に推移した。
	やや良く なっている	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・テナントビル全体の改装とともに、そのビルに入居する自店舗の改装も実施した結果、来客数が増加している。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・売上が前年同月比でかなり戻ってきた。前年を超えた日もある。東北方面の旅行が敬遠されているためか、当地への観光客が前年より目立っている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・タイの洪水の影響も収まりつつあり、乗用車販売台数は前年同月比5割増加している。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・昼、夜ともに個人、団体観光の集客が例年を大幅に上回った。特に関東や中京方面からが多く、東日本大震災の影響による旅先の選択に変化があったと思われる。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・客単価の上昇がみられる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・商店主からは異業種も含め廃業の話聞く機会が多くなった。また、塾経営者からは、兄弟で通っている場合、下の子どもをやめさせる家庭が多くなってきたとの話も聞いている。ただ、明るい未来を感じさせない話題が多い中、当店では低空飛行ながらも伸びている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災以降、キャンセルしたり自粛していた団体客が秋のシーズンに動き出し、前年同月より人数は増加した。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・スマートフォン効果がでている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話など旧商品の値下げにより若干ではあるが販売数が伸びている。スマートフォンに興味を持った客も増えており、ふらっと立ち寄った客が購買する傾向が見受けられる。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・自分の欲しい商品であれば購入したいという傾向が以前より顕著になってきた。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・前月に発売された頭皮ケアの商品の売行きが好調である。消費者は良い商品であれば、多少価格が高くとも購入する。		
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・気温の高い日が続き冬物のインナーは動くが、主要品のアウターが動かない。そのため買上単価が低い。
		商店街（代表者）	単価の動き	・来客数も減少しているが、客単価の低下も最近目立っている。客の価格に対する意識が厳しくなっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・気温の低下にともない防寒衣料に動きがみられるが、コーディネート商品の動きが不調である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・ポジョレーヌーヴォーの予約が前年同月比110%だったほか、肉より魚を買い求める傾向が強くみられる。必要なもの、家族と過ごすための食材が購買につながっている。しかし、その他の商品については厳しい。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、買上点数に変化が見られない。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・前半の売上高は前年同期を下回っていたが、後半は気温が低下したため、暖房用品、防寒衣料品など季節商材を買い求める客が増加し、月間では前年並みの売上になっている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・9月以降、売上が以前より回復基調になってきたが、価格志向と不用品は買わない状況が続いている。ただし、新商品やし好品の買上率が上がっているのは、やや良い傾向である。
		コンビニ（店舗管理）	お客様の様子	・季節商材や新商品への反応が鈍く、一方、特売品や見切り品の反応が良い。依然として節約志向が強いと感じる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・冷え込みとともに、防寒衣料が動き始めている。
		衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・気温が高かったこともあって、防寒衣料を購入しようとする気配が感じられない。

家電量販店（経営者）	販売量の動き	・地上デジタル放送への移行終了後のA V関連商品の動きが低迷したままである。	
家電量販店（店長）	販売量の動き	・販売量としては依然変化はない。年末に向けての販売量がどうなるのかが予想できない状況である。	
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・前年同月はエコカー補助金の終了に伴い販売面では後退傾向にあった。しかし、今月は震災の影響も解消されつつあり、受注残をこなすことにより前年同月を上回る傾向にある。	
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・新車の動きは、天候に左右される業種のため、一概に市況の影響と判断できないが、買い控えが多く必要な時に必要な物だけを購入する傾向が強い。また、単価自体も低下している。	
その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	単価の動き	・来客数は変わらず、買上点数は増加しているが、競争激化により1品単価が低下しており、全体的な売上に変化がない。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・台湾や韓国など海外の観光客、国内の修学旅行生が増えているように感じる。	
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・来客数は、前年同月より伸びているものの消費単価が上がらない。お得感のあるプランなどを選べるようになってきているが、追加注文や高額商品の希求はまだ先と考える。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・企業や法人の案件問い合わせがなかなか増加してこない。壊滅的であった今年5～7月に比べるとまだ回復感はあるが、9月頃の勢いは無くなってしまった。	
タクシー運転手	お客様の様子	・夜の歓楽街はまだ活気がない。ボーナスを前にしてあまり期待できない雰囲気があるのか、買物や外出を控えているように思われる。	
通信会社（職員）	お客様の様子	・客の特別な反応もなく、全体的に停滞している。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・スマートフォンの売行きが相変わらず好調ではあるが、伸び悩んでいる新機種もあるようである。	
その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・1日の利用者数は安定して推移している。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・商談時の競合と価格競争が激しくなっている。また契約までの商談時間が長くなっており、成約までのプロセスにも手数がかかっている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地の購入や住宅の建築を考えた際に、将来に対する不安な部分が大いのか、客の動きには変化は見られない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・イベントも出店攻勢も一段落して、盛り上がり欠けた月となった。土曜日、日曜日の天候も悪く、いまひとつの人出であった。気温も高く、季節商材の購買意欲がなかった。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・年末に向け来客数は増えているが、販売数、売上は前年を大幅に下回っている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温が高いため、マフラーやコートなど冬物の動きが鈍い。クリスマスや年末年始に向けて部屋の飾りつけ用品などの下見はあるが、実売につながらず、客の慎重な購買行動が見受けられる。
	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・来客数は前年同月比98%、客単価は前月比96%とともに低下している。特に単価の高い商品は大幅に落ち込んでいる。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・前年同月比では、魚、肉、野菜といった生鮮ものの販売量が5～10%落ちている。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・客の買物動向は、安い商品を買っている傾向がみられる。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価の動きは前年同月実績をкаろうじて上回っているものの、堅調であった来客数がここへきて前年同月を下回ってきた。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこの売上が前年比110%前後で推移しているものの、2～3か月前と比較すると、飲料の落ち込みが激しい。また、気温の影響もあり、レジ横で販売しているおでんやフライドフーズなどで廃棄が多く発生しており、粗利が大きく落ちている。
	コンビニ（店長）	それ以外	・好調なたばこの売上がある分全体の売上がよく見えるが、中身をみると弁当などの利益の稼げる商品の売上が良くない。利益で見ると非常に苦戦をしている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・前月に引き続き季節感に乏しく、冬物衣料の動きが思わしくない。

	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客足が止まっている。タクシーに乗っても、東日本大震災以降は客の利用が一段と悪くなっており、以前の悪さが懐かしくなるほど現在はさらに悪いと話している。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・地上デジタル放送への移行終了の影響、家電エコポイントの反動が続く、売上が落ちている。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・中旬までは引き合いも客足も前年をやや上回ると期待したが、後半急降下した。客は、施策や限定価格などで購入意欲をかき立てる仕掛けを打たないと食いついてくれない。	
	乗用車販売店（経営者）	それ以外	・タイの洪水の影響で売上予定車の入荷が遅れ、売上が大幅に下がっている。今月と来月はこの状態が続く、売上は苦しくなる。	
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・来客数が微減し、数量の伸びも見られない。新築などでも、必要最小限のものしか購入しなくなっている。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・消費者は財布のひもが固く、無駄な金は使わず、必要なものも吟味して購入しているようである。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・9月まで好調だった宿泊、レストランが低調に推移し、全体として売上は減少傾向にある。	
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・販売量は確保されているが、来客数が伸びず上積みまで出来ていない。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・需要が落ち込んでいる。病院通いにタクシーを利用していた人でも、タクシー利用回数を減少させている。	
	競輪場（職員）	販売量の動き	・2～3か月前と比較し、売上が7%程度落ちている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅建設受注額は前月比で減少し続け、情報量も同じ傾向にある。商談件数も減少してきた。	
悪くなっている	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	販売量の動き	・半期決算を迎え振り返ると、1か月の売上が非常に悪く、前年同月比を下回る月が多くあった。半年を通して売上は非常に悪かった。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・必要なものも最小限の点数に絞って買物をする傾向がみられる。例年では、ジャケットやコートなどこの時期に売れるべき商品の売上が落ちている。	
	通信会社（役員）	販売量の動き	・地上デジタル放送移行後はケーブルテレビ、インターネットなどの新規契約獲得件数は明らかに低下している。利用者のケーブルテレビに対する関心の低下は顕著である。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・企業団体や一般団体の来客数は前年同月比で1割近い減少となっている。また、海外からの観光客も風評被害や円高の影響で前年同月比2割以上の減少となった。さらに、前月まで好調であった個人客も前年を下回った。どの顧客層でも前年割れとなり、悪い状況に向かっている。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・例年、客の動きが鈍くなる時期だが、来客数が減少すると同時に契約までの時間が非常に長くなってきた。また、他社の動きも同様に鈍く、例年に比べても動きがかなり悪い。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・先止まり感が見え始め在庫調整があるように感じているものの、引き続きスマートフォン関連の部品が好調である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の状況を見ると、中小企業では仕事自体を確保するために苦勞をしていたが、現在は機械部品を製造している会社などでは、繁忙さが目立っている感じがする。
		不動産業（経営者） 税理士（所長）	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き	・同業者の話を総合すると、良くないとする意見があるものの、忙しくなってきたが半数を占めている。 ・円の水準も高止まっているが落ち着いて推移しており、見合わせていた生産関連が再開している。年末需要の相乗効果もあり、量的な面では受注が増加している。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・流通業界ではプライベートブランド化が進み、低価格帯で推移している。	
	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・非衣料関係は安定した受注があるが、衣料関連では国内需要が2極化している。	
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・社内会議では、受注状況は横ばいと報告を受けている。	

	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅資材に若干の増加感はあるが、まだ伸びているとまではいえない。	
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量そのものは増えているが、これは国内の年末商戦や年明けの海外向け商品の季節的増加の範囲内と捉えている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年のことであるが、年末に向かい12月工期の下請仕事が増えている。しかし、採算性は悪く、今期の累積赤字が増加している。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・軽油価格が高止まりし、下がる気配がない。燃料費が増え、収益を圧迫している。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・東日本大震災からの揺り戻しは以前にはみられたものの、現状ではさらなる上乘せはなく、維持している状況である。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月の売上は前年同月比で若干ではあるが上回った。	
	司法書士	競争相手の様子	・司法書士同士の話では、不動産取引、担保権設定、会社設立などの仕事がほとんどないと聞く。	
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者） 一般機械器具製造業（総務担当） 輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 取引先の様子	・スポーツ関係の欧州向けの受注が苦戦しており、受注減が現実化している。 ・円高の影響により欧州、米国の受注が落ち込んでいる。 ・円高が今後継続する状況のなかで、繊維関係、輸出関係の製品の荷動きが良くない。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・東日本大震災の復旧、復興工事の影響で関東方面の職方が不足し、外注価格が上昇している。工事採算の悪化が起きている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数が5か月連続で減少している。特に事業主都合、自己都合離職者の減少が大きくなっている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・例年、12月の一時的業務での人材需要も見られたが、社員対応で切り抜ける企業も多くなり、派遣需要が乏しい。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・一般派遣とともに、紹介予定派遣の増加傾向がみられるが、能力など、求められるハードルも高く採用に至っていないケースも多い。全体として採用数は横ばいである。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告掲載件数に大きな違いはない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・11月の求人広告は前年同月比で3割増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内の新規求人数は、前年同月比で6か月ぶりに1けた台の増加率となる見込みである。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・人材紹介、人材派遣とともに、求人数が増えておらず沈滞している。企業は人員増に慎重であり、一時的な要員や交代要員、パート要員を求める案件が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・福祉や介護などの施設の求人数が増加している一方、その他の業種についてはほぼ横ばいの状況である。
	やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-	-